

2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月8日

上場会社名 株式会社 ニッピ
コード番号 7932 URL <https://www.nippi-inc.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 裕子
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 善之
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3888-5117

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	24,418	8.9	1,830	78.2	1,916	54.7	1,377	65.7
2023年3月期第2四半期	22,417	15.8	1,027	10.5	1,239	12.0	831	20.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,876百万円 (79.2%) 2023年3月期第2四半期 1,047百万円 (38.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	479.03	
2023年3月期第2四半期	289.08	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	71,659	36,721	50.3
2023年3月期	69,564	35,077	49.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 36,069百万円 2023年3月期 34,462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		80.00	80.00
2024年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当予想については、本日(2023年11月8日)公表いたしました「2024年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、配当性向23%から25%を目安に2024年3月期決算確定時に判断し、1株当たりの期末配当金が決定次第、速やかにお知らせいたします。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	9.3	3,000	103.8	3,000	93.1	2,000	70.9	695.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想については、本日(2023年11月8日)公表いたしました「2024年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	2,889,000 株	2023年3月期	2,889,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	13,046 株	2023年3月期	12,976 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	2,875,971 株	2023年3月期2Q	2,876,055 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、コロナ禍の終息に向けた動きが加速する中で、レジャー、旅行、飲食などのサービス業を中心に景気は回復し、インバウンド需要も円安の影響もあり増加し、景気の緩やかな持ち直しが続いております。一方で、物価上昇の長期化により、実質所得の低下が個人消費を抑制する懸念もあり、また、主要各国の金利上昇が世界経済を停滞させ、輸出の落ち込みを通じて日本経済の下振れに繋がることも懸念されております。

このような経営環境のもと、引き続き製造費、販売費、管理費の削減、高付加価値商品の開発などに取組んでまいりました。当第2四半期連結累計期間は、景気の持ち直しにより各報告セグメントでほぼ増収となったことに加えて、原材料費、動力費、運賃、輸入為替などのコスト上昇分の一部を価格に転嫁出来たことにより利益率は改善され、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、24,418百万円(前年同四半期比8.9%増)となり、営業利益は、1,830百万円(同78.2%増)、経常利益は、1,916百万円(同54.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,377百万円(同65.7%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① コラーゲン・ケーシング事業

国内販売は、フランクサイズや着色素材物が順調に推移しました。一方で、輸出販売は、東南アジア向けが好調に推移したものの、北米向けがユーザーの在庫調整や競争の激化により苦戦した結果、全体で減収となりました。また、営業利益は、電力、動力費などに対する政府の補助などに加えて、主には生産が順調であったこと、また、輸出運賃が大きく減少したことなどで増益となりました。

この結果、売上高は、4,755百万円(前年同四半期比3.8%減)、営業利益は、515百万円(同33.0%増)となりました。

② ゼラチン関連事業

ゼラチン販売は、カプセル、食品向けを中心に好調に推移しました。ペプタイド販売は、輸出向けが価格競争による影響で減少したものの、国内向けではインバウンド需要の回復に伴い、健康食品用途を中心に好調に推移したことにより増収となりました。また、原料価格は輸入為替の影響もあり上昇が続いておりますが、販売価格に一定程度転嫁できたことにより利益率が改善し、増益となりました。

この結果、売上高は、7,108百万円(同23.3%増)、営業利益は、936百万円(同114.4%増)となりました。

③ 化粧品関連事業

化粧品の販売は、外出機会が増えたことにより、需要が回復傾向となって増収となりました。また、健康食品の販売は、引き続き健康志向を背景に「ニッピコラーゲン100」の販売が順調に推移しました。通販市場においては、コロナ特需も落ち着き伸び率が鈍化してきており、新規顧客を獲得するための広告宣伝費を集中投下したことにより減益となりました。

この結果、売上高は、3,702百万円(同18.1%増)、営業利益は、437百万円(同15.5%減)となりました。

④ 皮革関連事業

靴用革の販売は、紳士用、婦人用ともに行動制限の緩和に伴い、需要が回復傾向となったものの、ハンドル用革の販売は、中国経済の減速やサプライチェーンの混乱の影響などにより苦戦し、また、原皮の販売も減少した結果、全体として減収となりました。営業利益は、生産工程や処方の変更によりコストを削減し、また、原材料費の価格上昇分を販売価格へ一部転嫁できたことにより利益率が改善し、増益となりました。

この結果、売上高は、3,735百万円(同0.4%減)、営業利益は、157百万円(同3,101.2%増)となりました。

⑤ 賃貸・不動産事業

東京都足立区の土地賃貸事業は、大規模商業施設、保育所、フットサルコート、駐車場用地として有効活用を図っております。また、大阪府大阪市の土地賃貸事業は、中央区心斎橋における商業施設用地、ならびに、浪速区なんばにおける「なんばパークスサウス」(タイの高級ホテル、ライフスタイル型ホテル及びオフィスビル用地)として有効活用を図っております。

この結果、売上高は、524百万円(同26.2%増)、営業利益は、417百万円(同34.2%増)となりました。

⑥ 食品その他事業

有機穀物は、相場の上昇や円安の影響により苦戦したものの、外食産業向けのイタリア輸入食材は、行動制限の緩和により需要の回復が進み、また、バイオ関連製品は、国内外製薬会社や民間研究機関を中心に順調に推移いたしました。

この結果、売上高は、4,590百万円(同4.2%増)、営業利益は、188百万円(同23.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、71,659百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,095百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が461百万円、有形固定資産が413百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が1,102百万円、商品及び製品が1,004百万円、原材料及び貯蔵品が466百万円、投資有価証券が495百万円増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、34,937百万円となり、前連結会計年度末と比べ451百万円増加しました。これは主に、短期借入金が237百万円、長期借入金が243百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が212百万円、未払法人税等が172百万円、その他流動負債が485百万円増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、36,721百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,643百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が1,096百万円、その他有価証券評価差額金が335百万円、為替換算調整勘定が112百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、本日(2023年11月8日)公表いたしました「2024年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,012	6,550
受取手形及び売掛金	8,603	9,705
商品及び製品	7,966	8,970
仕掛品	681	725
原材料及び貯蔵品	1,679	2,145
未収消費税等	352	282
その他	528	463
貸倒引当金	△57	△51
流動資産合計	26,766	28,793
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,687	7,504
機械装置及び運搬具（純額）	812	1,436
土地	28,522	28,522
リース資産（純額）	63	83
建設仮勘定	1,328	421
その他（純額）	157	190
有形固定資産合計	38,572	38,158
無形固定資産		
リース資産	38	24
その他	203	222
無形固定資産合計	241	246
投資その他の資産		
投資有価証券	3,449	3,944
長期貸付金	11	9
繰延税金資産	92	90
破産更生債権等	3	3
その他	472	465
貸倒引当金	△47	△53
投資その他の資産合計	3,980	4,459
固定資産合計	42,795	42,864
繰延資産	2	1
資産合計	69,564	71,659

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,090	8,302
短期借入金	6,337	6,099
1年内償還予定の社債	100	100
リース債務	46	42
未払法人税等	414	586
未払消費税等	41	28
賞与引当金	475	466
役員賞与引当金	44	35
その他	1,884	2,370
流動負債合計	17,434	18,032
固定負債		
社債	100	100
長期借入金	8,312	8,068
長期未払金	327	243
リース債務	60	73
繰延税金負債	1,529	1,636
再評価に係る繰延税金負債	3,644	3,644
役員退職慰労引当金	626	513
退職給付に係る負債	2,166	2,209
資産除去債務	6	6
その他	277	407
固定負債合計	17,052	16,905
負債合計	34,486	34,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,404	4,404
資本剰余金	1,930	1,930
利益剰余金	19,374	20,471
自己株式	△38	△39
株主資本合計	25,670	26,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	622	957
繰延ヘッジ損益	11	41
土地再評価差額金	7,806	7,858
為替換算調整勘定	436	548
退職給付に係る調整累計額	△84	△103
その他の包括利益累計額合計	8,791	9,302
非支配株主持分	614	651
純資産合計	35,077	36,721
負債純資産合計	69,564	71,659

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	22,417	24,418
売上原価	17,026	18,075
売上総利益	5,390	6,343
販売費及び一般管理費	4,363	4,512
営業利益	1,027	1,830
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	52	69
為替差益	212	67
持分法による投資利益	7	14
その他	26	27
営業外収益合計	300	180
営業外費用		
支払利息	66	63
手形売却損	12	15
その他	9	15
営業外費用合計	88	94
経常利益	1,239	1,916
特別利益		
固定資産売却益	-	2
投資有価証券売却益	5	-
特別利益合計	5	2
特別損失		
固定資産除却損	0	38
出資金売却損	5	-
特別損失合計	5	38
税金等調整前四半期純利益	1,238	1,880
法人税、住民税及び事業税	379	514
法人税等調整額	△4	△42
法人税等合計	375	471
四半期純利益	863	1,408
非支配株主に帰属する四半期純利益	31	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	831	1,377

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	863	1,408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	335
繰延ヘッジ損益	△27	38
為替換算調整勘定	232	112
退職給付に係る調整額	11	△18
その他の包括利益合計	184	468
四半期包括利益	1,047	1,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,020	1,836
非支配株主に係る四半期包括利益	26	39

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,238	1,880
減価償却費	669	760
繰延資産償却額	0	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	31	△9
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	△8
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	18	16
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	5	6
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	27	△113
受取利息及び受取配当金	△53	△71
支払利息	66	63
為替差損益(△は益)	15	21
持分法による投資損益(△は益)	△7	△14
固定資産売却損益(△は益)	-	△2
固定資産除却損	0	38
投資有価証券売却損益(△は益)	△5	-
出資金売却損益(△は益)	5	-
売上債権の増減額(△は増加)	△1,396	△1,078
棚卸資産の増減額(△は増加)	△664	△1,464
仕入債務の増減額(△は減少)	1,445	184
未払又は未収消費税等の増減額	△28	187
その他	106	402
小計	1,483	800
利息及び配当金の受取額	52	70
利息の支払額	△61	△61
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	306	△350
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,780	458
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△100	△0
投資有価証券の売却による収入	11	-
出資金の売却による収入	53	-
有形固定資産の取得による支出	△468	△214
有形固定資産の売却による収入	-	3
無形固定資産の取得による支出	△12	△33
貸付けによる支出	△0	-
貸付金の回収による収入	2	0
その他	23	132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△490	△111

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	187	△248
長期借入れによる収入	1,075	2,000
長期借入金の返済による支出	△2,195	△2,267
自己株式の取得による支出	-	△0
配当金の支払額	△172	△230
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
リース債務の返済による支出	△26	△26
長期未払金の返済による支出	△86	△85
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,220	△861
現金及び現金同等物に係る換算差額	93	53
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	163	△461
現金及び現金同等物の期首残高	6,621	6,839
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,785	6,377

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。